彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, September 2025

課長：佐藤 裕久　H. Sato
幹事：下元 繁男　S. Shimomoto

○ 9月の状況（佐藤）

彗星課メーリングリスト(oaa-comet ML、以下同じ）などに次のような報告があった。

☆ C/2022 N2 (PANSTARRS)

門田健一氏(上尾:349)は、9月16.64日UT、0.25-m f/5.0反射+CCD(以下同じ)で全光度を14.4等と観測したとのこと。

高橋俊幸氏(栗原:D95)は、9月21.58日、26.60日UT、0.25-m f/4.2反射＋CCD(以下同じ)でそれぞれ全光度を 14.3 等、14.2等と観測した。それぞれ集光した1.67'～1.8'のコマがあるとのこと。

9月中、国内で位置観測したのは他に、山口義昭氏(西はりま天文台付近移動観測:247)、安部裕史氏(島根県松江市八束:367)、杉山行浩氏(神奈川県平塚市:D88)、嶋邦博氏(五藤天文台,八ヶ岳:Q14)、野原秀憲氏(栃木県宇都宮市:Q21)であった。

☆ C/2023 C2 (ATLAS)

高橋氏は、9月15.43日UT、全光度を15.7等と観測した。集光した19″のコマがあるとのこと。

門田氏は、9月23.50日UT、全光度を15.9等と観測したとのこと。

吉見政義氏(福知山:903)は、9月27.49日UT、0.25-m f/6.3 Schmidt-Cassegrain+CCD(以下同じ)で全光度を16.1等と観測したとのこと。

9月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、井狩康一氏(滋賀県守山市:900)、山口義昭氏(大阪府堺市:Q02)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)であった。

☆ C/2024 E1 (Wierzchos) (写真a)

門田氏は、9月14.46日、27.46日UT、それぞれ全光度を13.5等、13.2等と観測したとのこと。

高橋氏は、9月21.44日、26.44日UT、それぞれ全光度を14.2等、13.8等と観測した。それぞれ集光した1.27'～1.9'のコマがあるとのこと。

吉見氏は、9月21.46日UT、全光度を14.0等と観測したとのこと。

9月中、国内で位置観測したのは他に、山口氏(移動観測:247)、安部氏(八束:367)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)であった。

☆ C/2025 A6 (Lemmon)

門田氏は、9月1.75日、7.75日、17.77日、23.75日、29.68日UT、それぞれ全光度を10.8等、10.2等、9.2等、8.3等、5.6等と観測したとのこと。

吉見氏は、9月1.76日UT、全光度を10.7等と観測したとのこと。

高橋氏は、9 月 21.74 日、26.80 日 UT、それぞれ全光度を 8.5 等、8.2 等と観測した。それぞれ強く集光した 10.2’、11.3’のコマと p.a.294、298° に向かって 35’、1.09° を超える尾があるとのこと。

9 月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、杉山氏(平塚:D88)、吉本勝巳氏(山口県平生町:P87)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

9 月 29 日、磯部隆明氏(佐治天文台:867)から「9 月 27 日早朝の C/2025 A6 の中心部を 103cm 望遠鏡（焦点距離 4900 mm）で見た様子を整えました。レイ構造が何本か見えますし、エンベロープ構造も確認できます」とのコメントがあった。

☆ C/2025 R2 (SWAN) = SWAN25B

9 月 13 日、筆者から「SWAN 画像の更新です。最新(9 月 10 日)、海外のメーリングリスト comets-ml に投稿されている″SWAN25B on PCCP″と、C/2025 A6 と C/2025 K1 が確認できます。9 月 12.37 日 UT、佐藤英貴さんは Q62 で G 光度 8.1 等と観測しました。今夕は、おとめ座α、火星を底辺とする二等辺三角形の頂点となる位置に見えます」とのコメントをした。

吉本勝巳氏(山口県平生町)によると、チリ Rio Hurtado にある iTelescope Deep Sky Chile の 0.25-m f/3.8 Newtonian Astrograph + CMO の画像から、9 月 12.99 日、13.97 日 UT、それぞれ V 全光度を 8.1 等、7.1 等と観測した。明るい彗星で、それぞれ 2.7’、3.0’のコマと p.a. 115、114° に 45’以上のまっすぐな尾があるとのこと。

同日、筆者から「PCCP SWAN25B の軌道要素と位置推算表を計算しました。まだ Arc が短く不安定です」と報告した。

同日、磯部氏から「情報、ありがとうございます。まさに彗星のごとく現れましたね。とらえるには低空過ぎて、しばらくは傍観となりそうですがどうなるか楽しみです」とのコメントがあった。

同日、筆者から「ただ、Ernesto Guido の画像(Q71)を見ると、コマが逆三角形で崩壊しないかと心配です」とコメントした。

門田氏は、9 月 17.40 日、27.39 日 UT、それぞれ全光度を 6.9 等、6.6 等と観測した。17 日は、集光した 3’のコマが見え、p.a. 120° に 10’の尾があるとのこと。(明るい薄明の中、高度約 4° の低空で)

9 月中、国内で位置観測したのは他にはなかった。

14 日、大島雄二氏(長野県長野市)は、オーストラリアの 50cm 反射を使ってリモート撮影し、画像を整理していたところ分裂核状のものを捉えた。筆者は「ちぎれたような塊が見えます。核の断片かもしれません」とのコメントをした。

17 日、高松覚氏(神奈川県横浜市)は 300 mm F4 カメラレンズ+QSI583 で撮影した。

筆者が一部加工して(恒星には TYC 番号を入れた)紹介した。

28 日、織部氏から「やっと昨日、C/2025 R2 (SWAN)を観測できました。まだ薄明が残る、高さ 5 度という条件で撮影した画像なのであまり当てにならないかもしれませんが･･･光度:6.2 等(デジカメ G 画像)、コマ直径：約３分、尾：p.a.110 度に 40 分を超える」とのコメントと画像紹介(X

で公開)があった。

☆ 240P/NEAT （写真 b)

門田氏は、9 月 7.70 日 UT、全光度を 13.4 等と観測したとのこと。

高橋氏は、9 月 21.65 日 UT、26.66 日 UT、それぞれ全光度を 13.4 等、13.3 等と観測した。それぞれ強く集光した 2.86'、2.8' のコマと p.a. 253、254° に向かって 12.2'、10.9' の広い尾があるとのこと。

私(須賀川:Q23)は、9 月 26.63 日 UT、0.25-m f/4 反射＋CCD で全光度を 14.0 等と測定した。強く集光した 2.8' のコマと p.a.261° に 2.6' のやや広い尾が見えた。

9 月中、国内で位置観測したのは他に、安部氏(八束:367)、杉山氏(平塚:D88)、吉本氏(平生:P87)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)であった。

☆ 3I/ATLAS

門田氏は、9 月 1.43 日、14.42 日、17.42 日 UT、それぞれ全光度を 15.3 等、14.2 等、13.9 等と観測したとのこと。

9 月中、国内で位置観測したのは他にはなかった。

○ 9 月に発見・検出を確認した彗星

符号、名前、発見(UT)、光度等は次のとおり。詳細は MPEC、CBET を参照。彗星名の後につけた MPC コードは、日本人の確認者のコードで、Q62-1、X07-0 佐藤英貴氏、X07-& 吉本勝己氏である。

① C/2025 O2 (MAPS)
発見: MAPS Survey (W94)
2025 年 7 月 25.4 日、18.8 等
(MPEC 2025-Q231、CBET 5598)

② C/2025 Q1 (ATLAS)
発見: ATLAS Chile (W68)
2025 年 8 月 27.2 日、19.8 等
(MPEC 2025-R19、CBET 5599)

③ P/2025 Q2 = 2015 X9 = 2020 O5 (PANSTARRS)
検出: Pan-STARRS2 (F52)
2025 年 8 月 23.5 日 21.4 等
(MPEC 2025-R67、CBET 5604)

④ C/2025 R1 (ATLAS)
発見: ATLAS Mauna Loa (T08)
2025 年 9 月 3.6 日、19.3 等
(MPEC 2025-R73、CBET 5605)

⑤ C/2025 R2 (SWAN) Q62-1、X07-&
発見: Vladimir Bezugly (Dnipro, ウクライナ) 249:SWAN
2025 年 9 月 5.5 日、8.5 等
(MPEC 2025-R102、CBET 5606)

⑥ C/2025 R3 (PANSTARRS)
発見: Pan-STARRS2 (F52)
2025 年 9 月 8.5 日、19.8 等
(MPEC 2025-S104、CBET 5607)

⑦ P/2012 T2 = 2025 O3 (PANSTARRS)
検出: Pan-STARRS1 (F51)
2025 年 8 月 17.5 日 21.0 等
(MPEC 2025-S121、CBET 5609)

⑧ P/2005 T5 = 2025 S1 (Broughton) X07-0
検出: Mt Lemmon Survey (G96)
2025 年 9 月 24.4 日 19.6 等
(MPEC 2025-S299、CBET 5616)

○ 主な光度等観測報告

2025	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2021 G2 (ATLAS)											
Sept.	26.41	15.4	0.7′	-	>2.0′	230°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2022 E2 (ATLAS)											
Sept.	21.63	14.5	0.5′	-	3.0′	40°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2022 N2 (PANSTARRS)											
Sept.	5.74	14.6	0.9′	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑤
	21.79	14.0	0.8	3	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	⑥❶
	23.72	14.5	1.7	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑦
C/2023 C2 (ATLAS)											
Sept.	21.64	15.7	0.2′	-	0.3′	175°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2023 R1 (PANSTARRS)											
Sept.	21.47	15.6	0.15′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	24.45	15.6	0.15	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2024 E1 (Wierzchos)(写真 a)											
Sept.	21.40	13.8	0.4′	-	1.7′	40°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	21.41	13.1	1.3	3/	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	⑥❷
	23.40	14.0	0.4	-	1.7	40	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	24.40	13.4	0.4	-	1.8	35	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2024 J3 (ATLAS)											
Sept.	21.41	15.9	0.3′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	24.47	15.9	0.3′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2024 T5 (ATLAS)											
Sept.	25.71	14.1	0.25′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2025 A6 (Lemmon)											
Sept.	5.74	10.3	3.2′	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑧
	21.77	8.7	6.0	-	>20′	305°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑨
	21.78	8.5	4.0	6	-	-	-	-	36×40-cmL	吉田誠一	⑥❸
	21.78	8.1	5	7	-	-	-	-	10× 7-cmR	吉田誠一	⑥❸
	23.72	7.9	7.8	-	19	300	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑩
	23.81	9.8	6.0	-	>20	300	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑨
	25.79	8.4	6.0	-	>20	300	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑨
	26.79	7.4	6.5	-	>20	300	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑨
47P/Ashbrook-Jackson											
Sept.	21.60	15.6	0.2′	-	1.5′	230°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	25.63	15.6	0.3	-	1.5	230	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②

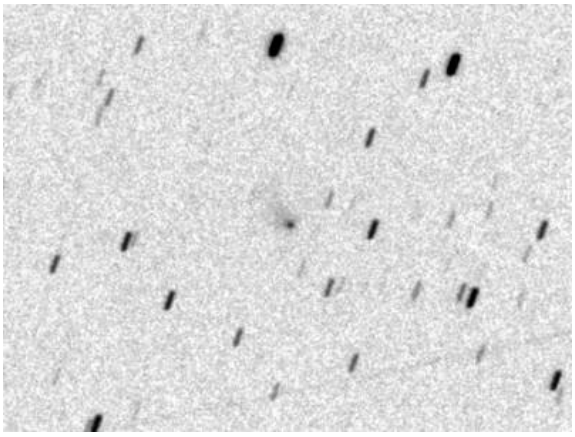
2025	UT	ml	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
240P/NEAT (写真 b)											
Sept.	21.73	14.4	0.3′	-	>7.0′	255°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	21.80	14.2	0.5	2	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	⑥❹
	25.81	13.8	0.4	-	>10.0	250	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
414P/STEREO											
Sept.	21.8	[12.6	! 0.5	-	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	⑥❺

＊ 40-cm F8.0 (レデューサー使用 F6.5) リッチークレティアン反射+FLI ML8300 (2x2 bin, -6℃)。
＊＊ 15-cm F4 (レデューサー使用 F2.5) 反射+デジタル一眼 Canon EOS 6D。

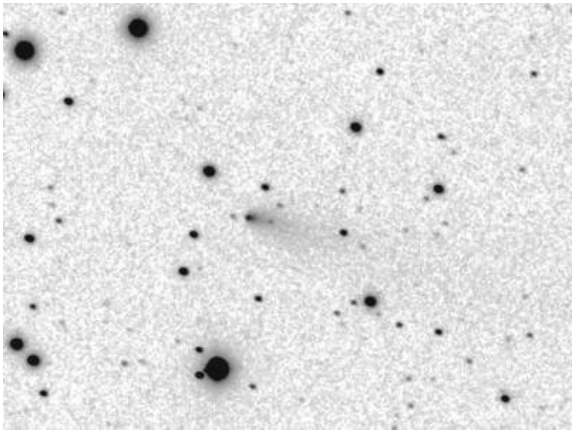
① 観測地:長野県富士見町 五藤光学八ヶ岳観測所。②光度、コマと尾の形状確認:10-40×60 秒露出スタック。③ 15 cm F2.5 反射+Canon EOS6D の G 画像を Makali`i Ver1.4a と Guide9.1 にて測光。観測地は千葉県横芝光町の九十九里海岸。④ 露出 40 秒 (20 秒×2)。⑤ 暗く淡くなった。⑥ 観測地:群馬県・北軽井沢。 ⑦ 淡い拡散状。 ⑧ コマは青く、強く集光した円盤状。⑨ tail over frame ⑩ 強く集光した青いコマから北西に 20′ を越える尾が伸びている。
❶ 淡く小さい。❷ 思ったよりも良く見える。❸ 明るくて見やすい！ ❹ 拡散していて見づらい。
❺ 金星のすぐ近くで導入しやすかったが、見えなかった。

※ 全ての光度等観測は、次を参照。
https://www.comet-web.net/~oaa-comet-ml/comet_mag_report.htm

※ 光度等の観測報告は、佐藤裕久宛て e-mail : hirohisa-sato@hi-ho.ne.jp に送付ください。



(写真 a) C/2024 E1 (Wierzchos)
2025,09,27 20h04.9m-29.1m (JST)
exp.60s×24 Sky90 500-mm 533MCP
三重県名張市 田中利彦氏



(写真 b) 240P/NEAT
2025,09,28 02h27.1m-51.3m (JST)
exp.60s×24 Sky90 500-mm 533MCP
三重県名張市 田中利彦氏